

TOHOシネマズ 六本木ヒルズが 2015年3月13日(金) REBORN

TOHOシネマズ株式会社が運営する“TOHOシネマズ 六本木ヒルズ”は、2015年3月13日(金)にリニューアルオープン致します。

2003年、都心型シネマコンプレックスの先駆けとして誕生した当劇場は、当社のフラッグシップシアター(旗艦劇場)として映画文化の発信拠点の一翼を担って参りました。オープン12年目を迎える2015年、最高の環境で映画をご鑑賞いただけるように生まれ変わります。

メインスクリーンに最新設備とラグジュアリーシートを導入

圧倒的な巨大スクリーンでワンランク上の臨場感「TCX」(TOHO CINEMAS EXTRA LARGE SCREEN)®

TOHOシネマズが自信をもって贈る、独自規格によるラージスクリーン「TCX®」は、迫力のある映像に没入できる贅沢な映画鑑賞環境をご提供致します。

- ≫ Wall-to-Wall(左右の壁から壁まで)の壁一面に広がったスクリーン
- ≫ 床・壁・天井・シートのカラーをダーク系に統一し光の反射を抑えた暗室効果を高める
- ≫ 同規模の座席数のスクリーンよりも画面サイズを約120%拡大



よりパワフルでドラマチックなシネマ音響「ドルビーアトモス」

ドルビー社が提供する「ドルビーアトモス」は、天井を含めて増設されてスピーカーと独自のシネマプロセッサーにより、映画サウンドに、自然でリアルな音場をつくり出し、観客をストーリーに引き込みます。

- ≫ 天井に設置されたスピーカーにより高さを含む3次元的な表現が可能
- ≫ スクリーン・チャンネルとサラウンド・チャンネルを同じクオリティで再生することが可能
- ≫ スピーカー毎に自在に音を配置し、移動させることが可能



画期的な新技術を導入したスピーカーシステム、米国クリスティ社製「ヴィヴ・オーディオ」日本初上陸

ドルビーの最新プラットフォーム「ドルビーアトモス」を再現するのに最適な「ヴィヴ・オーディオ」は、従来より、その繊細な高音域の再現性でプロフェッショナルに圧倒的な支持を得てきたリボンドライバー方式をシネマ用スピーカーに採用。また複数のスピーカーを直線状に並べたラインアレイ方式により、音の指向性が高まり、音が上下に拡散しないため、客席の前方から後方まで均一に音を届けることを可能にし、劇場内の「音のスイートスポット」を拡大します。

CHRISTIE
VIVE AUDIO



※「TCX」「ドルビーアトモス」「ヴィヴ・オーディオ」は、メインスクリーンのみの採用になります。

ゆったりと映画鑑賞をしていただける ラグジュアリーシートの導入

TOHOシネマズ初！

電動リクライニングシート「プレミア ラグジュアリー シート™」

フットレストの付いた革製の電動リクライニングシートで、よりラグジュアリーに、ゆったりとした空間で映画をご鑑賞いただけます。



プレミアラグジュアリーシート™

TOHOシネマズ初！

大画面の迫力を体感できる「フロント リクライニング シート™」

座席の最前列に配置された本シートならではの迫力を体感できます。

リクライニングしていただくことで、リラックスしながら

映画の世界に没入することができます。



フロントリクライニングシート™

日本橋で好評を得た「プレミア ボックス シート®」

海外のエアラインでも採用されている革張りのシートに、重厚な木目調のボックスで仕切られたセミプライベートな空間で、映画の世界に没入できます。



プレミアボックスシート®

※各座席の画像はイメージになります。

◆プレミアスクリーン®のリニューアル

メインスクリーンにラグジュアリーシートを導入するのに伴い、プレミアスクリーン®を一般スクリーンとしてリニューアル致します。リニューアル以降はメインスクリーンのラグジュアリーシートで最高の空間を体験できます。

◆改装スケジュール

2015年1月19日(月)より改装工事を順次開始致します。

TOHOシネマズ株式会社 代表取締役社長 瀬田 一彦

都心型シネマコンプレックスの先駆けである「TOHOシネマズ六本木ヒルズ」は、これからもTOHOシネマズのフラッグシップシアターであり続けます。この劇場は、これまで数多くの来日プレミアイベントや国際映画祭、中継イベントなどで日本の映画文化の発信基地の一翼を担ってきましたが、今回、さらに豊かな映画館体験をしていただくために改装することにいたしました。」12年目の生まれ変わり(リボン)に、どうぞご期待ください。